

CUP-1200

1.2GHz オールモード トランスバーター

取扱説明書

CUP-1200は144MHz帯を親機とする車載でも、固定でも使用可能な1200MHz帯用オールモードトランスバーターです。

定 格

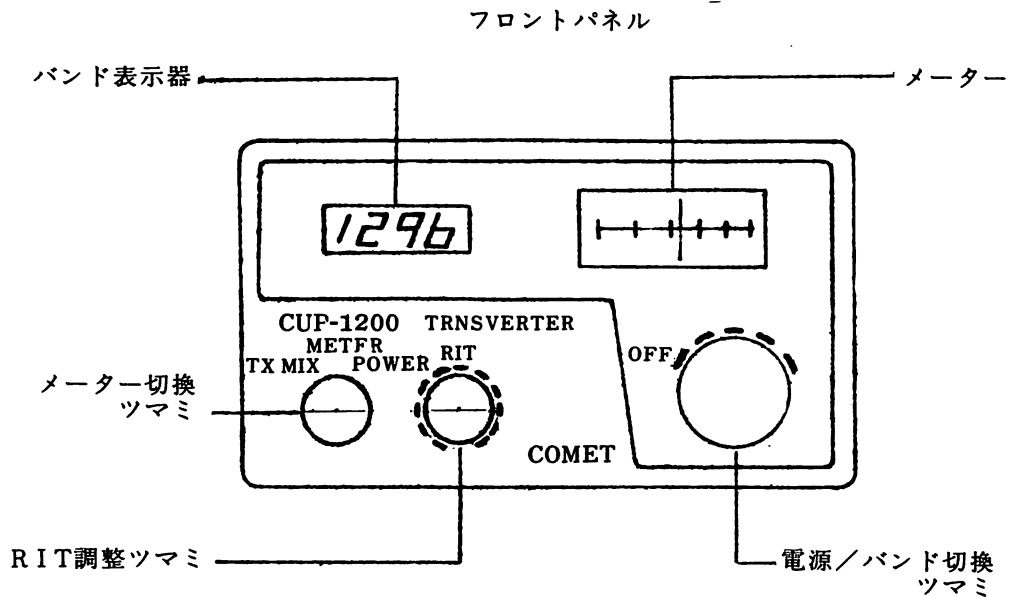
1.送・受信周波数	1291MHz~1299MHz (親機 144MHz~146MHz) 1292表示 1291MHz~1293MHz 1294 " 1293MHz~1295MHz 1296 " 1295MHz~1297MHz 1298 " 1297MHz~1299MHz
2.電 波 型 式	SSB, CW, FM, AM
3.入 力 電 力	1.0W/ 10W 切替
4.出 力 電 力	1.0W~1.2W
5.受 信 感 度	SSB, CW 0.5 μ V入力時 S/N 15dB以上 FM " S/N 5 dB以上
6.電 源	DC13.8V 1.2A (最大)
7.寸 法	118 (W) \times 68 (H) \times 200 (D)

送信フィルター特性

1.形 式	キャビティ型バンドパスフィルター
2.中心周波数	1295MHz
3.減 衰 量	-3dB帯域にて \pm 40MHz -40dB帯域にて \pm 170MHz

〔注〕上記の定格および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

動作説明



(1) バンド表示器

電源スイッチをONしますとバンド周波数が表示されます。表示周波数はバンド内の中心周波数を表示します。

(2) メーター切換ツマミ

メーターの動作を切換えるスイッチです。「TX MIX」の位置では受信時に局発の発振レベルを、送信時にドライブ電力の強さを読みとるメーターとして動作します。「POWER」の位置では送信時のみPOWERメーターとして動作します。

(3) RIT調整ツマミ

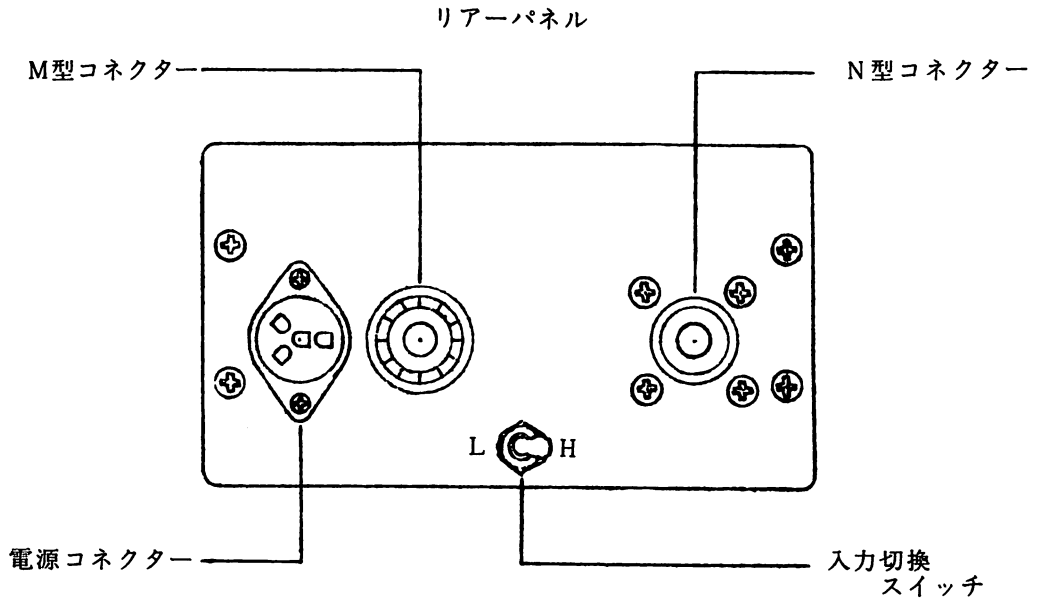
送・受信共周波数を $f_0 \pm 2 \sim 3 \text{ KHZ}$ 動かさせます。チャンネル式の親機を使用する場合など相手局にゼロインする時に使います。

(4) メーター

メーター切換スイッチの切換により「TX MIX」では受信時にメーターが0.5～1の間で、送信するとフルスケール近くまで振れます。「POWER」では送信時のみに作動します。

(5) 電源/バンド切換ツマミ

OFFの位置でトランスバーターの電源が切れます。他の位置で電源が入り、バンド表示器がバンド内の中心周波数を表示します。



(1) M型コネクタ

親機トランシーバのアンテナ端子に接続してください。

(2) 電源コネクタ

付属の4ピン(オス)コネクタを接続し、赤、黒コードを手持ちの安定化電源(12~13.8V)の赤(+)、黒(-)に接続してください。青の線は、トランスバータを送信にする端子で、親機トランシーバ送信すると、アースになる端子またはアースすると送信になる端子に接続してください。モバイル機などで、それらの端子が無い場合は、マイクコネクタのPTT端子に接続してください。

(3) N型コネクタ

1200MHZのアンテナを接続します。

(4) 入力切換スイッチ

親機トランシーバの出力電力が3W~10W出力の場合にはH側、0.5W~3W出力の場合にはL側にセットしてください。

取扱い方法

(1) 電源スイッチをOFFにする。

(2) 1200MHZのアンテナをN型コネクタに接続する。

(3) M型コネクタに親機トランシーバのアンテナ端子を接続する。

(4) 電源コネクタに電源ケーブルを接続する。電源ケーブルは赤の線には+13.8V、黒の線には

アース、青の線には親機トランシーバのPTT 端子またはトランシーバを送信するとアースがつながる端子にそれぞれを接続する。

- (5) 後パネルのIF 入力電力切換スイッチはL とH があり、入力電力により下記のようにセットしてください。

L の時は 入力電力 0.5 W ~ 3 W

H の時は 入力電力 3 W ~ 10 W

- (6) RIT 調整ツマミを中央の位置にセットする。
(7) メーター切換スイッチをTX MIX にセットする。
(8) 電源スイッチをON にする。
(9) バンド表示器がバンドの中心周波数を表示し、メーターのランプが点燈します。メーターは、0.5 ~ 1 の間で針が振れます。
(10) この状態で本機は受信状態になります。

バンドと周波数の関係

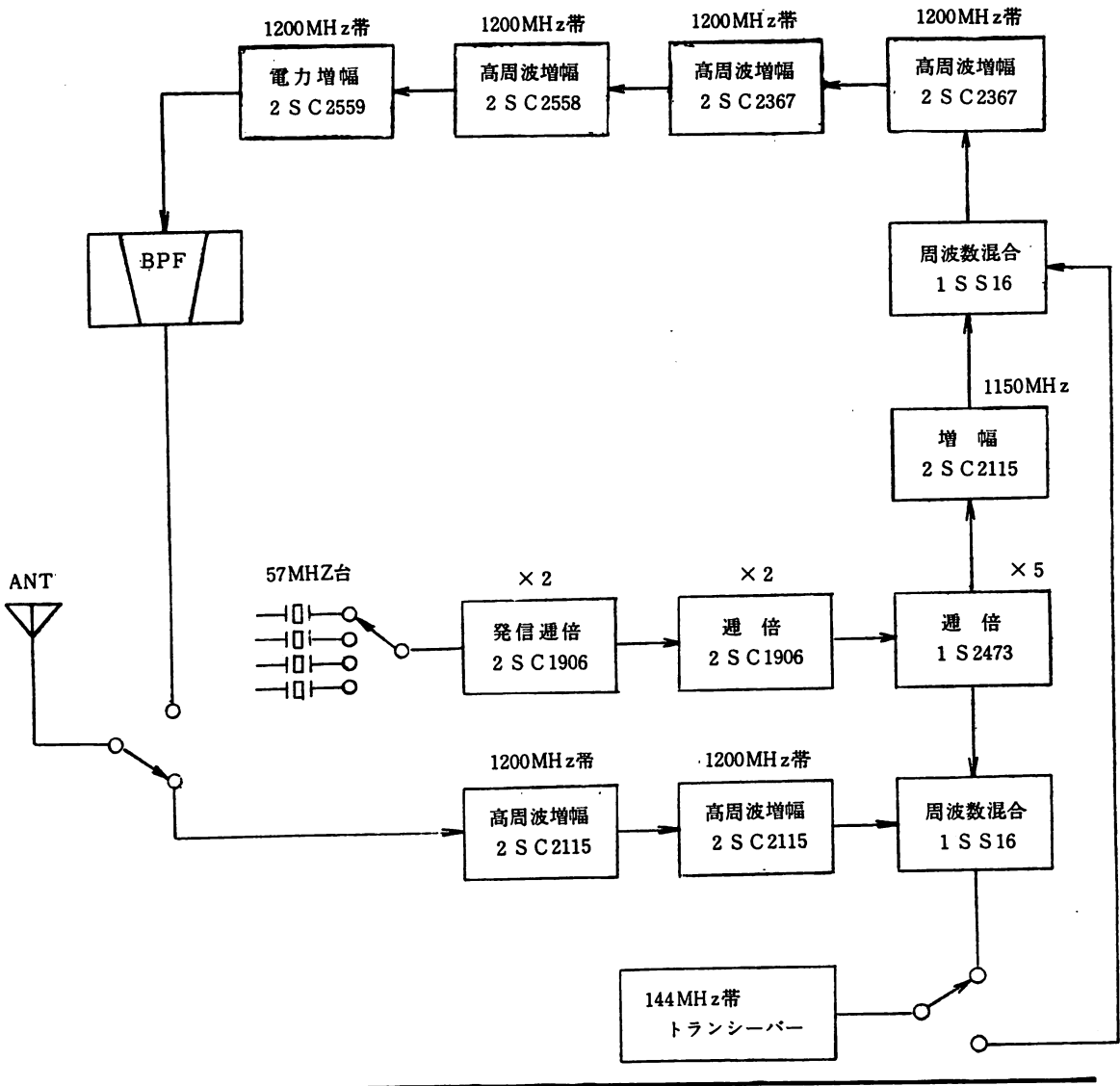
バンド	トランスバーターの送・受信周波数	トランシーバの送・受信周波数	RIT 可変範囲
1292	1291 ~ 1293 MHz	144 ~ 146 MHz	± 3 KHz
1294	1293 ~ 1295	144 ~ 146 MHz	
1296	1295 ~ 1297	144 ~ 146 MHz	
1298	1297 ~ 1299	144 ~ 146 MHz	

- (11) 親機トランシーバを送信すると、本機も送信状態になり、メーターの照明が赤色に変わります。
(12) メーターは、フルスケール前後振ります。振れが少ない時、または振り切れる時は、後パネル入力切換スイッチで修正します。それでもだめな時は、親機トランシーバ側でパワーコントロールをしてください。
(13) メーター切換スイッチをPOWER にすると、メーターは1 前後振ります。

コメント株式会社

〒335 埼玉県戸田市美女木1230
0484-21-7921

CUP-1200 ブロックダイアグラム



局部発振周波数と運用周波数の関係

バンド	発振周波数	逡倍×2	逡倍×2	逡倍×5 (ミキサー入力)	運用周波数 (親機144~145MHz)
1292	57.35	114.7	229.4	1147	1291~1293
1294	57.45	114.9	229.8	1149	1293~1295
1296	57.55	115.1	230.2	1151	1295~1297
1298	57.65	115.3	230.6	1153	1297~1299

CUP-1200 アップバーター回路図

